

部活動の地域移行について

令和5年8月2日（水）

◆中学校における部活動の現状

- 近年、深刻な少子化により中学校生徒数が激減し、部活動の継続が困難。
- 経験のない部活動の指導や、休日の指導が求められ、教員にとって大きな負担。



**生徒にとって望ましい持続可能な部活動
教員の働き方改革**

国の改革の方向性

- 学校が主体となってきた部活動を、新たに地域が主体となって活動する
- 休日の運動部活動から段階的に地域移行
- 令和5年度の開始から3年後の令和7年度末を目途に可能な限り早期の実現

目的

- 学校ではできない活動に触れることによって子どもたちの選択肢を広げ、いろいろな体験をしていく気持ちを養う

◆飛島村の部活動の現状

▶ 部活動の種類

野球(19)・サッカー(30)・卓球（男(25)・女(8)）・バスケットボール(20)・ソフトテニス(21)・創作奉仕部(11)

▶ 活動回数

平日：原則として、火、水、金の3日間、朝練なし、
時間は最長90分

休日：原則として、土日のどちらか、3時間程度

長期休業中：原則として、平日3時間程度、休日は行わない

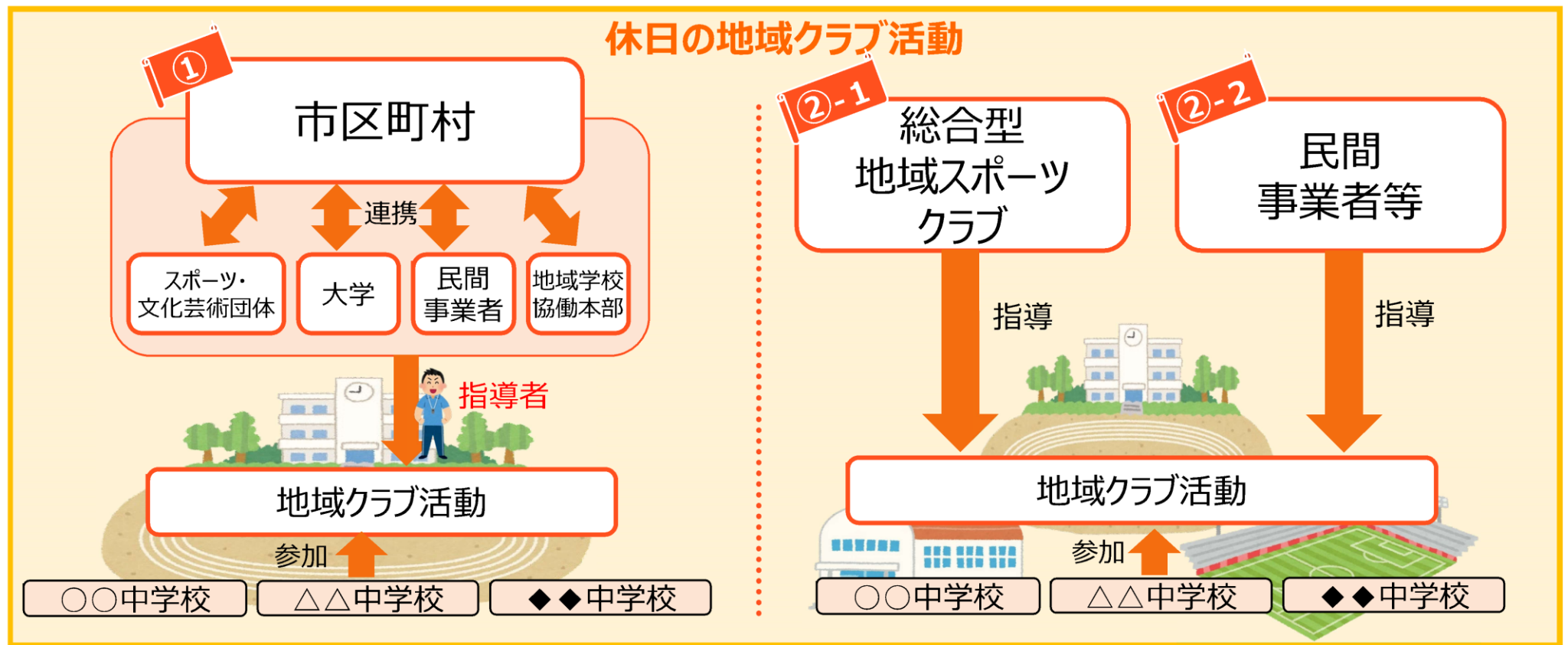
飛島学園における持続可能で適切な部活動の在り方について検討するため

『飛島学園部活動の適切な在り方検討委員会』を設置

- ▶ 第1回は令和5年6月14日（水）に開催
- ▶ メンバー：愛知教育大学教授 風岡治、
（敬称略） 教育委員 服部泰憲、学園校長 児玉正康、
PTA代表 早川一樹、
スポーツ協会会長 服部道弘、
スポーツ少年団本部長 木全宏尚、
スポーツ推進委員長 正木尚憲、
文化協会長 塚松一枝、
総合型地域スポーツクラブ代表 久野鉄男、
教育長 萩野登記代

第1回検討委員会の内容

① 休日の部活動の地域移行について説明



② 近隣市町取組説明

- ・ 海部地区では地域移行が進んでいるところはない。
津島市・・・令和4年度に検討委員会を開催したが、
決まっていない。
愛西市・・・既存のスポーツ団体に移行を検討中。
マーチングバンド団体が中学生の休日部活を
指導している。
弥富市・・・方向性は決まっていない。休日に生徒を受入れ
ている団体を紹介するリーフレットを作成。
あま市・大治町・・・検討会を開催したが受入れ団体が無い。
蟹江町・・・今年度中に検討委員会を開催する予定。
- ・ 岐阜県羽島市竹鼻中学校・・・スポーツクラブが主体となって
休日の部活動を行っている。

弥富市のリーフレット

学校部活動の 休日地域移行について

地域への移行内容

スポーツ庁及び文化庁が

将来にわたり生徒がスポーツ・文化芸術活動に継続して親しむことができる機会を確保するため、速やかに部活動改革に取り組む必要があり、部活動の地域移行に当たっては、地域の持続可能で多様な環境を一体的に整備を進め、まずは休日部活動における地域環境の整備を地域の実情に応じて令和5年度から令和7年度までの3年間で改革推進期間として地域連携・地域移行に取り組みつ、可能な限り早期の実現を目指すガイドラインを定めました。

市教育委員会
公式ツイッター

市公式
ツイッター

スポーツ庁「学校部活動及び新たな地域活動の在り方等に関する総合的なガイドライン」
https://www.mext.go.jp/sports/bj_en/sports/m_caterp04/_b1/1405720_00002.htm

弥富市では

国が定めたガイドラインに従い、地域連携・地域移行を進めていきたいと考えています。そこで、当市では地域で活動している団体が多数存在していることから、地域団体と連携しながら、環境整備に取り組んでいきます。休日活動については、子どもたちが自らの選択で地域クラブへ参加してもらうことで、地域活動を推進していこうと考えています。

今後も子どもたちがスポーツ・文化芸術活動に継続して親しんでいけるように段階的に環境整備を進めてまいります。

詳細については市公式ホームページをご覧ください。
今後も情報発信を行ってまいります！

HPはこちら

受入れ団体一覧

種目	団体名	代表者	活動日	活動時間	場所	会費等
野 球	弥富ベースボールクラブスポーツ少年団	古川 貴史	(土・日・夜)	9時～17時	子宝G・白鳥小G・弥生小G	2,000円/月
バレーボール	桜バレーボールスポーツ少年団	徳尾 正志	(月・水) 第1・3・5(土) 第2・4(土) (日)	19時～21時 13時～17時 9時～15時 9時～17時	桜小学校体育館	3,000円/年 2,000円/月
サッカー	サッカー協会	飯谷 秋秀	(土・日・夜)	9時～12時	鍋田川G・境港G・八咫G	10,000円/年 2,500円/月
剣 道	桜剣道会	横野 由佳	(水) (土) (日)	18時45分～ 17時15分～19時30分 9時15分～11時30分	第一武道場	1,000円/年 2,500円/月
	弥生剣道会	永井 隆則	(水) (土) (日)	18時45分～21時 9時～11時30分 9時～11時30分	総合福祉C 弥生小体育館 白鳥C	2,500円/月 施設使用料有
	大栄剣道会	伊藤 力	(水) (土)	18時30分～20時30分	TKエスポーツセンター	3,000円/年 2,500円/月
	弥富市剣道連盟	内田 武夫	(水) (土・日・夜)	20時～21時15分 9時～12時	TKエスポーツセンター 特設中体館	
なぎなた	なぎなた連盟	大木 博雄	(金)	19時～21時	TKエスポーツセンター	1,000円/月
柔 道	弥富柔道会	山森 豊文	(水・土) (日)	18時30分～21時 17時～21時15分	第二武道場	1,000円/年 1,000円/月
空手道	空手道協会	中村 謙治	(火・水・金) (土・日)	18時～21時15分 10時～12時	第一・第二道場 TKエスポーツセンター	3,500円/月
吹奏楽	弥富ウィンドアンサンブル	藤井美奈子	(火・金)	18時～21時	総合社会教育センター	2,000円/月

Q&A

Q. 休日の活動には必ず参加しなければいけないのか。

A. 参加を強制するものではありません。あくまで生徒の自主的な参加を推進しています。

Q. 活動に参加するのに費用がかかるのか。

A. 各団体によりそれぞれ費用（会費）ががかかります。

弥富市総合社会教育センター
(教育委員会生涯学習課)

〒498-0017 弥富市前ケ須町野方802-20
TEL 0567-65-0002 FAX 0567-65-1777
MAIL shakyo-city@yamato.jp

近隣の取組やモデル事業から見えてきた課題

① 指導者の質と量の確保

- ▶ 専門性や生徒を指導する資質・能力を有する指導者
- ▶ 中学生の発達段階に応じた指導力を有する指導者
- ▶ 平日の部活動と休日のクラブ活動での一貫した指導のための調整

② 施設の確保

- ▶ 学校施設を活用する場合のセキュリティ、学校との調整

③ 予算や保護者負担の問題

- ▶ 指導者の人件費、平日は公費負担だが休日は受益者負担？

④ 保険の在り方

- ▶ 学校部活動と同じような危機管理を行えるか
- ▶ 事故や大規模災害があったときの対応

⑤ 大会への参加の際の引率

③ 学園より部活動の現状等説明

【教員の声】

- ・ 休日の部活動の地域移行は17名中16名が賛成。
- ・ 特に休日の部活動は負担感が大きい。家庭のこともあり、休日の練習や大会などに負担を感じている。
- ・ 競技経験のない部活動の顧問となった場合、生徒たちに力をつけることができず、申し訳ない気持ちがある。
- ・ 生徒のために部活動は行っていきたい気持ちはある。しかし、部活動の時間が教材研究の時間や学級のための準備の時間、家庭で過ごす時間を圧迫しているのも事実としてある。
- ・ 試合で勝つ喜びも味わわせたいので技能を高めていくことは必要だと感じる。

④ 保護者や地域の声

【教員の負担について】

- ・ 休日部活動が教員の負担になっていて、こうした状況で部活動に手が回らないのは当然である。
- ・ 先生たちの負担を減らしていくのは賛成。ただ地域に部活動の受け皿があるのか心配。種目によって差が出てくるのではないか。

【練習時間について】

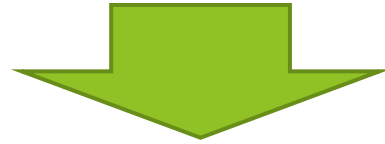
- ・ 3時間程度の練習ではなかなか技術が身につかないので、もう少し練習時間を長くしてほしい。

【指導者について】

- ・ 専門的な技術がある方の指導を望むが、どのような指導員が来るのか不安。
- ・ 技術だけでなく、先輩後輩の関係や礼儀やマナーの面も指導してくれる指導者がよい。
- ・ 外部の専門的な指導者に効率の良い指導をしてほしい。
- ・ 部の間で同じような熱意、レベルで指導してもらいたい。
- ・ 将来的には平日も地域に移行していった方がよい。

⑤ 休日の部活動に対する学園としての願いや考え方

- 現在の学園の運動系部活動の休日の活動について、専門的知識を持った指導者の方に指導をお願いしたい。
- 休日は所属部活動以外の活動に生徒が参加するという考え方もあるが、大会もあり、技能向上のためにも現在の部活動のまま休日移行したい。



飛島村では学園にある部活動を地域移行していく

⑥ 各団体の現状、思いを聴取

- ・ 総合型スポーツクラブ・・・卓球やダンスに中学生が参加。
指導のための資格が必要か。
受け入れに当たっての、費用は。
- ・ スポーツ協会・・・休日に大会など自分たちの活動をしたいので、
休日に子どもの指導は難しい。
- ・ スポーツ推進委員・・・どのように関わっていけるか、今後話し合いをする。
- ・ スポーツ少年団・・・現在、指導者は一番下の資格しか持っていない。
中学生の指導ができるか。
地域移行した際に資格取得の費用は。
団長たちの考えを聞いていない。
受けることが可能か話したい。

中学生の地域クラブ活動の受け入れは難しい

第2回検討委員会 8月31日（木）

- 子どもたちの意見。
- 先進自治体の具体的な進め方。
- 民間委託（名古屋市）の取組。

視察関係

- 近隣では地域クラブ活動が進んでいるところがない。
- 岐阜県竹鼻中学校は予定が取れなかった。
- 愛西市 あいさいマーチングバンドブローイング（6/25）
- 安八町 特定非営利活動法人NPO総合体操クラブ（7/3）

あいさいマーチングバンドブローイング

- ▶ 休日の地域クラブ活動の運営主体は地域の一般バンドである「Aisai Marching Band BLOWING」
- ▶ 部活動縮小化とともに、佐織中学校吹奏楽部の中でマーチングの練習時間が取れなくなった。保護者がマーチングをクラブチーム（Saori Marching Band）の中で練習ができるようにしたことがきっかけ。
- ▶ 地域の一般バンドとしてAisai Marching Band BLOWINGを令和2年度に発足。



○あいさいマーチングバンドブローイング成果と課題

- やりたい人が自主的に生き生きと活動できている。
- 地域の依頼演奏が学校から地域バンドに移行している。
- 音楽を通して、幅広い年齢層の交流が図れる。
- 中学生の力量向上と若手指導者の育成ができる。
- 愛西市発信で、地域の枠を超えた交流活動ができている。

- ✓ 学校の吹奏楽部内の二極化

→モチベーション、部活動に対する考え方

- ✓ 学校部活とは違って、地域バンドには母体がない。そこから生じる問題として、毎年団員数が不安定である。



特定非営利活動法人NPO総合体操クラブ

◆団体概要

名 称 特定非営利活動法人NPO総合体操クラブ
所在地 岐阜県安八郡安八町氷取222番地の11 OKB体操アリーナ内
代表者 理事長 臼井俊範
会員数 520名（2021年12月現在）
実施種目 体操競技、新体操、トランポリン、アクロバット、チアダンス
活動場所 OKB体操アリーナ
設立年月 1992年4月



NPO総合体操クラブが運営主体となるポイント

- ・法人格を有している⇒国・県・企業と**契約行為が出来る**
- ・民間スポーツクラブであり、県認定の総合型地域スポーツクラブである⇒**国が推奨する団体**である
- ・日本スポーツ協会の公認クラブマネジャーがいる⇒**マネジメントが出来る**人材がいる
- ・自前の施設を所有している⇒**公共施設に頼らない**事業計画が可能になる
- ・県体操協会の事務局委託も受けている⇒事務局機能が盤石である為**多団体の事務も受け入れ**られる

◇パイロット事業 指導者の属性を変えながら実践

実践1：バスケットボール部：プロチームから指導者派遣

実践2：野球部：教員が地域指導者となって指導する

実践3：サッカー部：社会人指導者を別の非営利団体より派遣

実践4：卓球部：大学体育会より監督と学生選手を派遣

実践5：吹奏楽部：吹奏楽連盟より指導者と大学吹奏楽部員による指導（専門教員がいる学校とない学校の2校で比較）



指導者：岐阜バスケットボール株式会社
SWOOPS スクール指導者



指導者：「特定非営利活動法人Let'sたるい」
より サッカー有資格指導者



指導者：朝日大学体育会卓球部
米塚雅弘監督、卓球部員（選手）

パイロット事業から、指導者確保が1番難しいことだという課題が見えてきた。

◆見えてきた課題とは

- 1、プロチームから派遣の場合
 - ・チームもジュニアチームの指導や派遣依頼等があり、来れる回数が制限される。
 - ・今回は補助金で謝金を賄えたが、実際に保護者負担となると難しい
- 2、教員が地域指導者として指導する場合
 - ・教員には移動があるので、その場合指導者不在になる可能性がある
- 3、他団体より派遣の場合
 - ・団体との契約ならば可能であるが、指導者が特定の1人ならば難しい
- 4、大学より派遣の場合
 - ・学生の練習時間を削るわけにはいかず、都合の合う時のみという限定的となる

指導内容は満足のものだったが、毎回とはいかないため、指導者確保は課題となる

名古屋市の全小学校の平日部活動委託会社

Q 指導者の質を含めた指導者の確保は。

A 種目経験は必須。資質向上のための研修あり。

地域で指導員を公募。希望によっては会社に所属する専門家を派遣することも可能。

平日部活動との調整は統括責任者を配置し、学校側と指導者間を調整。

Q 学校施設を利用した場合に施設管理はどうするか。

A 学校側と協議のうえ、鍵等を預かり管理していくことも可能。

Q 緊急時の対応は。

A 緊急時マニュアルをもとに、統括責任者が学校と保護者に連絡。
保険はスポーツ安全保険と損害賠償保険で対応。

Q 大会参加の際の引率は。

A 学校側と協議。

Q 保護者との連絡は。

A 連絡システムで出欠確認や連絡、スケジュール共有、トラブル対応をする。